

④8 若者による“飛騨高山”の未来づくり「村半」整備事業

受賞機関 岐阜県 高山市

キーワード 伝統建築、市民参画、地域活性化、技術継承

全建賞審査委員会の評価ポイント

旧城下町の伝統建築を公有化し、若者による地域活性化を推進するための拠点施設として再生した取組。徹底した市民参加や学識経験者との共働により、建物の歴史的価値の維持、良好な景観形成、地域の活性化などを実現した点や、建築物を3Dにより評価し、新しい素材等を用いて作り直すなど工夫した点が評価された。

1. はじめに

岐阜県の北部、飛騨地域に位置する高山市は、市内に四年制大学がなく、大学等へ進学する者はいったん故郷を離れ、そのうちの多くは都市部で就職して帰郷しないため、子どもを生み育てる年代が細り、人口減少に拍車がかかる深刻かつ構造的な課題を有している。

この事業は、次代を担う若者がまちなかに集い、様々な活動を通じて飛騨高山への誇りと愛着を育むとともに、歴史ある建物の保存と伝統的建造物群保存地区および周辺の美しい町並み景観の維持を図ることにより、地域全体の活性化や持続可能なまちづくりに繋げることを目的として行ったものである。

2. 事業の概要

江戸時代に城下町として栄えた飛騨高山の重要伝統的建造物群保存地区内で、長く空き家となっていた大規模な伝統建築を公有化し、平成29年度から約3か年かけて改修整備を行った。

歴史的価値の高い伝統建築の改修にあたり、構想段階から運営面に至るまで、徹底した市民参画や学識者等との共働により事業を推進した。高校生を含む公募市民



「村半」外観

(約100名)による「整備に向けた検討会」や官民連携の「利活用検討会」などの開催を重ね、建物の歴史的価値を堅持しつつ、快適な施設利用にも配慮し、地場産業の魅力が随所に取り入れるなど新旧のベストミックスが果たされている。

特に外観については、形態や意匠をほぼそのままに修理・復元を行い、主屋についても必要最低限の改修に留めた。伝統的建造物の伝統工法(手刻み)での改修、実際に煮炊きできる台所の竈や手押しポンプの井戸等の復元、地元の山中和紙の継ぎ貼りによる障子戸の修理など、地元発注による地域活性化、技術継承の面でも成果の多い改修事業となった。

3. 事業の成果

令和2年7月の開所以降、市内外の若者をはじめ幅広い世代の方に利用されている。学生による自習や映画鑑賞、仲間との誕生日会などの利用のほか、地域の大人たちと一緒に学習、交流する場としての利用、飛騨家具の展示会、地域団体の会議など用途も様々である。この施設ができたことにより、新たに文化活動を始める方やグループを結成する動きも複数みられ、予想を超える活用の広がりをみせている。



「村半」中庭に集う若者等

4. おわりに

今後もこの「村半」を舞台とした様々な活動を通じ、人とひと、人とまちを深く結び付けることにより、“飛騨高山”のまちの未来づくりにつながっていくことを期待している。